



大阪市立堀江中学校は

創立60周年を迎えました

創立60周年の節目を終え、未来に備える

校長 山本 裕康



昭和34年の創立より本校は激動するふたつの時代を歩んできました。ひとつは高度経済成長期を経てバブル崩壊を迎えた昭和の時代、もうひとつは自然災害と向き合った平成の時代でした。そして次にやってくる時代は仕事の多くが自動化され、古いものが新しく入れかわり、昔の考え方が、新しい考え方にかわる21世紀型ITC社会だと言われています。

しかし、新しい時代のことは誰にもわからないし、まだ何も決まっていない空白です。未来に備えるとは、特別なことではなく未来に続いている今を積極的に行動し、空白に素敵な夢と希望を描くことです。

創立60周年の節目と、新時代の始まりを担う皆さんの活躍を楽しみにしています。

記念式典を11月10日に開催

記念品贈呈

60周年の記念品として、創立60周年記念事業委員会より学校へ、正門横の校舎壁面に設置されている「懸垂幕昇降装置」贈呈と校内庭園整備をしました。ご来校の際にはぜひご覧ください。



体育大会

10月17日

クラブ対抗リレー

お弁当タイム

お弁当おいしいよ!



「どっこいしょ、どっこいしょ」、「ソーラン、ソーラン」秋晴れのもと、59期生の気合の入った声が響き渡り、みんなで作りあげた学年演技。合唱コンクール以降、短い練習期間の中でよくここまで仕上げたなど感じました。学年練習では全体でやる練習のほかに、クラスごとに輪になって踊ってました。家で振付を一生懸命練習していた子もいたと聞いています。そんな練習の成果が十分に発揮された迫力のある、創立60周年を祝うにふさわしい演技でした。演技終了後の大きな拍手がその出来ばえを物語っていると思います。また学年演技以外でも、競技に取り組む姿勢、応援態度、各係の仕事もさすが3年生という姿を見せてくれました。特に学級対抗全員リレーでは、どんなに差が開いてもみんながクラスのために懸命に1本のバトンをつなぎ、それを必死で応援する姿がとても感動的で、各クラスの団結力を感じました。さびしい気もしますが、2学期の始めから続いた一連の行事もこれで最後です。次は1人ひとりが真剣に自分の進路を考えていく番です。苦しい道のりだけど、頑張れ59期生!

3年学年主任 岩井 勉